

移動に関するおはなし

クルマと環境

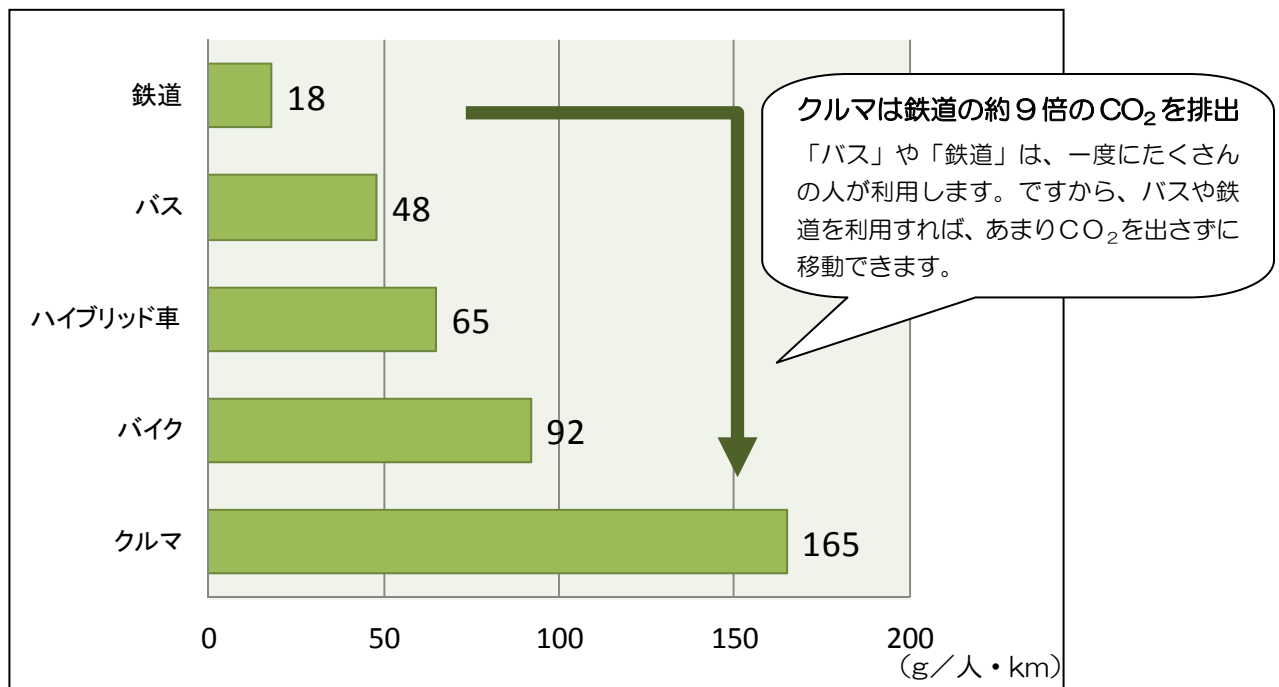
皆さんは通勤・通学やお出かけにどのくらいクルマを使っていますか？

クルマを使う理由としては、クルマの方が早く移動できるから、自宅や目的地近くに駅やバス停がないから、荷物がたくさんあるから、途中で立ち寄るところがたくさんあるから、クルマは快適で好きだからなど、様々あると思います。

確かにクルマは便利な乗り物ですよね。しかし、たくさんの人がクルマばかり使っていると、交通事故や渋滞、排気ガスの問題など困ったことも出てきてしまいます。みなさんがほんの少しクルマの利用を控えることで、そうしたことへの解決に大きく貢献できるかもしれません。

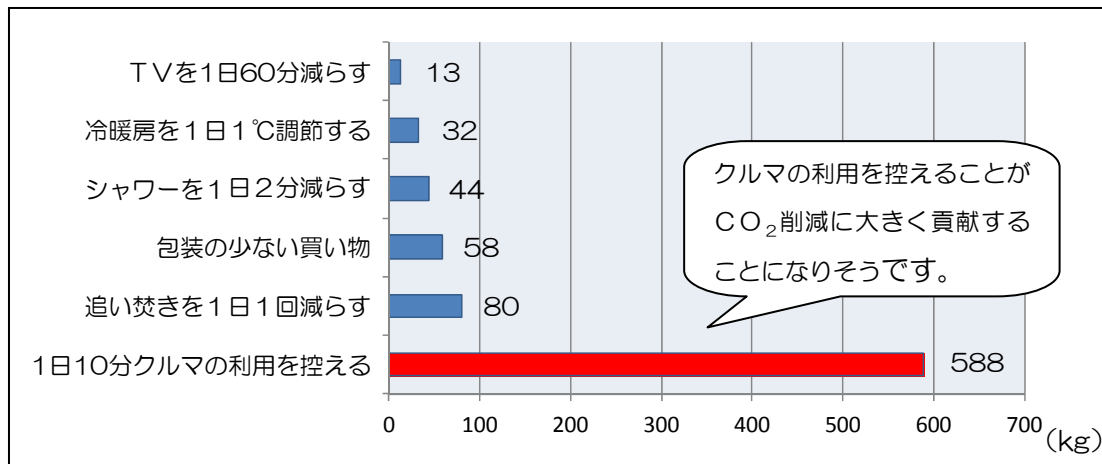
そこで、今回はクルマの移動に関する様々な情報のうち、昨年度のアンケートで興味があるとお答えいただいた環境に関するものを中心にいくつかご紹介させていただきます。ぜひ、ご覧ください！

★一人が1km 移動するときに排出する CO₂ 量を交通手段別に比較



出典：国土交通省 HP 運輸部門における二酸化炭素排出量（2009 年度）
（ハイブリッド車は国土交通省（平成 19 年 3 月）「自動車燃費一覧」より 10・15 モード燃費を 1km 走行における CO₂ 排出量に換算した値。車種はトヨタプリウス。バイクは国立環境研究所『市区町村の運輸部門 CO₂ 排出量の推計手法に関する比較研究』より小型二輪車の CO₂ 排出量）

★1年間で削減できるCO₂量の比較



出典：京都大学大学院 藤井研究室

★環境以外の視点から、クルマと公共交通機関の比較

クルマ

- ・移動時間が読めないなので、余裕を持って出発しないといけない。
- ・予想外の渋滞に巻き込まれ、イライラし、遅れることも。
- ・急な夜のお酒の誘いもクルマなので飲めない。



公共交通機関

- ・時刻表・路線検索の活用でスケジュール通りスムーズに移動。
- ・座ることができれば本を読む余裕も生まれる。
- ・急な夜のお酒の誘いにも断らなくてOK!

※今回ご紹介したクルマと環境に関する情報だけでなく、お金・健康・交通事故に関する情報も、ホームページ「みんなでトクする 日常の移動を考えるプロジェクト」(<http://www.ido.city.nagoya.jp/>)で掲載しております。ぜひご覧ください。

いかがでしょうか？クルマをよく使うという人はクルマ以外の移動手段について少し考えてみませんか。また、普段の移動は徒歩、自転車、公共交通機関という人は今の移動手段をこれからも続けていただきたいと思います。

さて、次は実際にあなたの移動に伴うCO₂排出量はどうなっているかを計算していただきたく、同封資料に『交通行動診断カルテ』を用意しました。ぜひご活用ください。

【市民のみなさんの移動事例】

会社員Bさんの場合

名古屋市に隣接する東海市に住み、JR 熱田駅近くの会社までクルマ通勤をしていたが、健康診断でメタボ予備軍と判明。そこで、少しでも歩く移動方法として、市認定のパークアンドライド駐車場※であるイオン大高ショッピングセンターに駐車し、徒歩で南大高駅へ行き、そこから熱田駅までJRを利用し、駅から会社まで徒歩に変更。

健康によいだけでなく、定刻に会社に着けるし、駐車場料金として商品券が還元されたり、ちょっとおトクな気分！

※徳重駅にも商業施設の駐車場を利用した市認定のパーク＆ライド駐車場があります。詳しくはホームページ「名古屋パーキングナビ」(<http://www.ido.city.nagoya.jp/parking/>)をご覧ください。